

学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

(1) クラス担任制

学生の修学支援のため指導教員制が取られている。全学生は10～50名程度のクラスに分けられ、各クラスに指導教員(1,2名)が配当されている。指導教員は毎学期の履修登録、授業の履修に関して相談助言を行い、また進路相談、その他学生生活全般に関わる問題解決のための相談にも応じている。

(2) オフィスアワー

本学では、学生からの質問や相談に、専任教員が個別に応じるオフィスアワー制度を設けている。オフィスアワーとは、研究室においてあらかじめ決められた日に授業に関することや学業のこと以外にも学生生活、就職のことや将来に関すること等の相談を受けやすくなるための制度である。非常勤講師はオフィスアワーとしての時間帯を設けてはいないが、授業時、授業終了後に質問を受け付ける体制を取っている。

また、本学は学長もオフィスアワーを行っており、学生のみならず教職員も対象としている。

(3) 就職進路

キャリアセンターは1年生から4年生まで全ての学生、ひとり一人の進路相談、指導が受けられる体制を整備している。特に4年生の就職支援では「エントリーシート」「自己PR書」「履歴書」など就活に必要な書類の書き方などの指導を行い、実践に役立つ就活の支援を行っている。

キャリア教育の早期化と充実を図るためにカリキュラムを組んでいる。

- ① 初年時から外部講師を招いて就職に向けた意識作りをする。
- ② 就職に直結する基礎学力・社会人基礎力向上のための科目として1年次に「基礎ゼミA」「同B」2科目、2年次に「基礎ゼミC」「同D」「現代社会とマナー」3科目、3年次に「キャリア設計A」「同B」「キャリア時事A」「同B」4科目を設置する。

初年度から将来に対する意識と目標設定を徹底させ、第2セメスターからはじまる専修外国語を能動的に学修させるために、初年度教育「基礎ゼミ」の4～5回は、キャリアセンターの主催として、学びとキャリア形成とのつながりを意識させるなどのキャリア教育を行っている。

(4) 健康管理

健康管理に関しては、1年次必修科目として「保健科学」を設置し、健康管理をも含めた教育を実施している。学生からの個別の相談には事務局学生課が対応し、校医への連絡、医療機関の紹介等も行っている。

個人の心理的問題の解決支援のために学生相談室が設置されている。相談室では、週1日指定された曜日にカウンセラーが随時対応している。相談を要する学生は、まず本学専任教員へ問い合わせ、その上で必要に応じてカウンセラーに相談するという体制を取っている。